

「日本におけるケミカルバイオロジー研究新展開」に関する研究開発専門委員会  
第4回委員会 議事抄録

日時 平成25年2月12日 15時30分～19時00分  
場所 東京国際フォーラム ガラス棟405室/403室  
出席者 長田裕之（委員長）、穴澤秀治（副委員長）、  
浅見忠男、味戸慶一、井本正哉、上杉志成、上村大輔、岡部隆義、  
河岸洋和、木村宏之、斎藤臣雄、袖岡幹子、辻尚志、永野栄喜、濱口洋、  
春山英幸、日野資弘、矢守隆夫、吉村巧（五十音順、敬称略）  
欠席者 上仲俊光、遠藤正志、大島悦男、掛谷秀昭、菊地和也、白井真、  
新家一男、菅裕明、菅原二三男、田中隆治、馬場良泰  
（五十音順、敬称略）

講演 ～ 化合物ライブラリーの整備と活用

- ・ 岡部隆義委員（東京大学 創薬オープンイノベーションセンター）  
「東京大学創薬オープンイノベーションセンターにおける化合物ライブラリーの  
構築・維持管理」  
アカデミア発の創薬を目指したライブラリーを紹介。国内の大学研究者と共同  
研究で様々なヒット化合物が得られている。
- ・ 斎藤臣雄委員（理化学研究所基幹研究所 ケミカルバイオロジー研究基盤施設）  
「理化学研究所ケミカルバイオロジー研究領域における化合物ライブラリーの  
構築と活用」  
天然物を中心とした化合物ライブラリーの構成、スクリーニング用プレートの  
設計、ハイスループットスクリーニング技術「化合物アレイ」の紹介
- ・ 濱口洋委員（日本農薬(株) 研究開発本部）  
「農薬開発のための化合物ライブラリー」  
医薬品開発と農薬開発の相違点などを紹介。フルベンジアミドの例「除草剤を  
探していて、全く新規の殺虫剤を創製」。
- ・ 辻尚志委員（味の素製薬(株)）  
「新規創薬ターゲットの同定 ～ 創薬におけるケミカルバイオロジー」  
創薬標的をどのように設定すべきか、これまでの経験を踏まえた具体的な例を  
紹介。Phenotypic screening で見出された化合物の標的同定が重要。